

----- 本日のプログラム -----

<第2251例会>

2022年3月28日(月) 18:30 ZOOM開催

第4回クラブフォーラム(青少年奉仕委員会担当)

覚知頌春様 卓話

♪「四つのテスト」

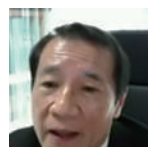


奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
2021-22RIテーマ



会員誕生日祝	入会記念日祝
3/31 竹原巖 会員	4/1 赤木道子 会員

前回例会記録 2250回3月14日(月) 12:30 ZOOM



担当

国際奉仕委員会
大館 政弘 委員長

【司会】 藤城 英明 会長
【ビジター】 おりません
【ゲスト】 おりません

出席報告	会員数	出席	欠席	除外	MU	%
3/14	38	22	13	3	---	63

※出席免除期間

会長報告

■本日も前回に引き続き ZOOM での例会となります。

■昨日、北京パラリンピックの閉会式が行われておりましたが、プーチンによるウクライナ攻撃の戦争被害があまりにも酷く、パラリンピックを楽しめなかったのが、とても残念に思います。そして、戦争というのは、政府が情報を制限・操作し、政府にとって都合の悪い情報を流したものや抗議運動をしたものには厳罰を科す法律を定め、それによって国民を黙らせる。この情報統制が戦争を起こす大きな原因になっていることが明確に理解できました。国民には文句は言わせない独裁国家には、特に注意を払わなくてはなりませんし、過去の日本もそうであったことを忘れてはいけなと思っています。

■先週もお声がけをしておりました、ウクライナへの緊急支援についてです。後ほど財団委員長の沖田会員より委員会報告があると思いますが、ジャン・ジャーム ロータリー財団管理委員長からのメッセージで、My Rotary ホームページの「ロータ

リー災害救援基金」あてにロータリアン、ローターアクター、ロータリーファミリーの皆様の温かいご支援を下さいますよう心からお待ちしております。」とありましたので、私も先日このアドレスから寄付をさせて頂きました。500万人にもなると予想されているウクライナ難民へのご支援を行動で表したいと思います。また、既にご寄付頂いております皆様のお気持ちを心からの感謝を申し上げると共に、敬意を表したいと思います。

■中村越子さんの再入会が理事会で承認され、氏名公表がなされております。春の訪れとともに、私としてはとても楽しみにしております。

■次年度の会長エレクト研修セミナー、いわゆる PETS についてです。地区実行委員長の下村卓也様より連絡があり、PETS は 3/26(土)13時から18時10分まで、財団セミナー・米山セミナーは 3/27(日)10時から15時まで、WEB を利用した ZOOM 会議になったことの連絡が入っております。合わせて会長エレクトへのお手紙が石丸修太郎ガバナーエレクトより届いております。次年度の RI 会長は

ジェニファー・ジョーンズさん。RI のテーマの発表と当地区のテーマの発表がなされておりました。

■地区第 4 第 5 グループ会長幹事会が 4/9(土)15 時から 16 時 30 分まで京王プラザホテルで行われます。合わせて、今年度の IM は中止との連絡が入っております。

■ヒューストンで開催されます国際大会において「6月5日の日本人親善朝食会」では、RI シェカール・メータ会長のスピーチ等が予定されております。ご参加のご希望や質問等ございましたら、4月4日までに事務局へご連絡をお願い致します。

委員会報告

◆黒川篤会員より・・・現在猛威を奮っているパソコンウイルスについて

◆ロータリー財団委員会（沖田委員長）・・・ウクライナへの緊急支援についてと、4月11日開催のチャリティーオークションについてのご案内。ご提供品の提出は 4/4 例会時にお願い致します。※当日も受付致します。

メインプログラム



札幌北ロータリークラブ スリランカ子ども基金

栗原 清昭 会員

「札幌北ロータリークラブスリランカ子ども基金」は 2014 年に設立され、スリランカ南部の小中学校における健康増進や教育効果促進に寄与するための事業を実施しております。

基金設立までの経緯

1998 年以来、小林博会員（国際ロータリー第 2510 地区パストガバナー）はスリランカにおける保健医療の向上と学校環境の改善に取り組んでられました。スリランカで心筋梗塞、がん、脳血管障害などの生活習慣病が多発していることから、一次予防としての「生活習慣を変える」方

策についてスリランカ政府などに働きかけをされておりました。しかしながら、大人の生活習慣を変えることの難しさに直面し、小林会員が理事長を務める札幌がんセミナーと JICA が共同して子どもたちを対象とした「学校主導の健康増進」事業に 2006 年から着手されました。スリランカ南部の小中学校 4 校をモデル校としてヘルスキャンプ、ワークショップ、ヘルスセミナーを開催するなどし、子供たちが自ら考え自主自立のやる気を起こすことによって家庭や地域全体を変えていくことを目的とする活動です。この活動の成果としては「子供たちが自主的に、自発的に考え、行動するようになった」、「学校の先生が健康のことに関心を持つようになった」、「親や地域が健康以外のことについても学校と一体になってコミュニティ活動を支えるようになった」などが挙げられます。

スリランカ子ども基金の設立と事業内容

2000 年以降札幌北 RC 会員がスリランカを訪問し、コロボ RC（2019 年姉妹クラブ締結）からの依頼に応じて中古ベッド、内視鏡カメラ、眼科診断用スリットランプなど医療機器類を寄贈して参りました。2014 年に小林会員からクラブに 800 万スリランカルピー（約 570 万円）のご寄付をいただき、これを基に「札幌北ロータリークラブスリランカ子ども基金」が設立されました。この基金をコロボ RC に預託し、当地で毎年生み出される利息凡そ 80 万ルピー（スリランカでは現在 10% 前後の年利）を活用して「学校主導の健康増進」に役立てることとしました。これまでスリランカ南部の 7 校に対し子どもたちの健康増進や教育効果促進を目的として「インセンティブファンド（激励金）」を贈呈しております。



「インセンティブファンド」は、健康増進や教育効果促進という目標の範囲内であればその用途は問わず、それぞれの学校の子供達の自主判断に任せます。その効果として子供達に自主自立の気持ちが芽生え、同時にそのように成長する子供達の姿を見て親が心を動かし、やがて地域全体が変わっていくことを期待するものです。

「インセンティブファンド」の活用例

- ・食生活の改善による生活習慣病予防のための学習会
- ・月1回各家庭での糖分・塩分・油の摂取量調査
- ・拡声器活用による地域向け健康増進に関する情報提供
- ・野菜園をつくり、緑黄色野菜と健康との関係について学習
- ・家庭に向けてニュースレターの定期発行
- ・タバコ、飲酒、デング熱、メンタルヘルスなどの自由研究
- ・学校の施設環境改善



現状と課題

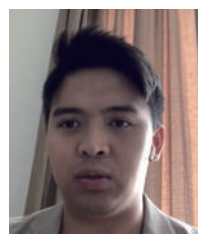
全世界で猛威を振るうコロナ禍は事業遂行に大きな影響を与えております。長期に亘る休校措置や国民の外出制限などの対策によって事業は中止しております。コロナ禍が収束し早期の平常化を願うばかりです。

また、これまでの経験のなかで感じることは、「現地における本事業の目的に対する理解」を得ることが難しいということです。子供たちの自主的な行動を促進するため中心的役割を担う教員の養成が急務です。

スリランカ子ども基金に関する詳しい内容は、小林会員が今年2月に上梓された「スリランカ20年」やクラブHPのトップページにリンクがある「ロータリーの国際奉仕から学んだこと」(動画)をご参照ください。



「ロータリーの国際奉仕から学んだこと」



新型コロナ関連の支援事業について

プーナット・スパークン 会員

札幌北 RC からの多くの支援事業がありますが、新型コロナ関連の支援事業についてお話をさせていただきます。

まずはサバイバルボックス支援。中には WASH、CPR の教育書、非常食、常備薬、衛生用品が入られます。2014-2015 からグローバルで支援してきた職業訓練生がデザイン、作成してくれたバッグです。作成する側にも訓練の成果の実践を披露する貴重な機会となっています。現在も職業訓練校はコロナの影響で休校中と聞いていますが、ロータリーの職業訓練事業の学生さんたちは、震災の支援等も TEAM で実践してくれています。財団の職業訓練事業の際に設置したミシンを使い、支援バッグを作成してくれています。袋詰めをベトナムの職業訓練生も手伝ってくれました。サバイバルボックスについては、なんとかたくさんの方々に直接届けることができました。

次は、ポンピサイエリア「緊急支援 BOX」札幌北 RC から 10 万円の支援金を御寄付を頂き、急激なコロナの感染拡大で大変な生活を、200 個程のサバイバル BOX で支援して頂きました。サバイバルボックス支援については、感染拡大でポンピサイエリアがロックダウン中の為、地元の自治体に

お願いをして困っている方々に届けて頂きました。サバイバルボックスで、多くの方々に支援が届けられました。ボックスの中には、お米や調味料の食料品や歯磨き粉、石鹸、タオルなどが入っています。そして、「タイ東北の友人の皆様へ」の手紙をBOXに入れました。タイ語翻訳をさせていただきました。県知事にこの手紙を渡します。このように手紙をBOXの中に入れて、応援のメッセージを届けて頂きました。ロックダウン中の集落に、地元の自治体からボックスを届けてくださった様

子です。地元のテレビニュースでも、数回取り上げられました。

さて、50周年での事業のひとつの国際絵画コンクール事業を、林里紅会員を中心に実施頂きました。タイの子供達だけでなく、紛争に苦しむミャンマーの孤児の子供達にも絵を描いて頂きました。このように、タイ東北だけでなく、周辺のミャンマー、ベトナム等の子供達にもご支援の輪が広がっています。最後にベトナムからの訓練生等の動画をご覧ください。ありがとうございました。

会務報告

①来週は法定休日のある週となり休会です。次回の例会は3月28日、夜18時30分からの夜間ZOOM例会となっております。会員の皆様はお見えのないようお願い致します。次回は青少年奉仕委員会担当例会で、第4回クラブフォーラムとなっております。財団学友2017-19地区補助金奨学生の覚知頌春さんをお迎えしての卓話の予定です。URLについては後日事務局よりご案内させていただきます。

北クラブ情報

例会日 毎週月曜日 12:30

例会場 センチュリーロイヤルホテル



札幌北RCホームページ

<http://www.sapporo-north.jp/>



- * 4月4日(月) 真駒内RC 出張卓話
- * 4月11日(月) チャリティー抽選会
- * 4月18日(月) 青少年奉仕委員会 担当例会
- * 4月25日(月) **休会 (昭和の日の週のため)**

他クラブ予定表

札幌西		休会 ※受付なし		未定
はまなす	29日	夜間例会	5日	会員卓話
札幌清田	(火)	休会(理事会裁量)	(火)	クラブフォーラム
大通公園		未定		未定
モーニング		夜間例会 ※受付なし		新入会員卓話
札幌	30日	ゲスト卓話	6日	「犯罪被害者はどうして救われないのか」
真駒内	(水)	夜間例会 ※受付なし	(水)	ゲスト卓話
新札幌		通常例会(ZOOM 併用)		米山奨学生のご挨拶
札幌東	31日	小さな豆屋の反逆(会員卓話)	7日	社外役員について 会員卓話
札幌西北	(木)	未定	(木)	「大学雑学」 会員卓話
札幌幌南	4/1	定例例会	8日	保手濱 歌織様 卓話
札幌手稲	2日	フォーラム「札幌手稲RCの魅力とは」	9日	会員卓話
札幌南	4日	新会員卓話	11日	社会奉仕委員会 支援金贈呈式

※コロナウイルスの影響で予定変更になる可能性があります。ご注意ください。